

【小論文】

別添の資料は、櫻井稔著『内部告発と公益通報』（中央公論新社、2006年）の一節（P. 3-8、100-102）である。

資料を読んで、次の問1～3に答えなさい。

なお、解答は、解答用紙の所定の範囲に収まるように作成しなさい。

問1 （真正型の）内部告発と密告の違いはどこにありますか。ドラッカーの見解に対する著者の批判も考慮に入れて、両者の違いについての著者の考えを述べなさい。

問2 内部告発者の「矛盾」「葛藤」とは何と何の間に生じるものですか。また、なぜそこに葛藤が生じるのでしょうか。著者の考えに沿って答えなさい。

問3 内部告発者が政府や司法システムに対する信頼を失わなくて済むような社会を実現するために、私たちは内部告発に対する認識をどのように考えるべきだと思いますか。なぜ、内部告発者が政府や司法システムに対する信頼を失うのかについて考えながら、あなたの考えを述べなさい。

※問題文として、櫻井稔著『内部告発と公益通報』（中央公論新社、2006年、3-8頁及び100-102頁）を筆記試験時に配付しました。（なお、出題にあたって一部改変しています。）